

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

節分祭

2月1日(日)午後2時から堤治神社において節分祭が行なわれました。

境内には老若男女の皆さんが多数集まり、今年の厄年会(二ツ屋・小信の寅卯会)の皆さんや氏子青年会の皆さんが袴(かみしも)を着けて、設営された舞台の上から大きな太鼓に合わせて、「福は内、鬼は外」の掛け声とともに福豆まきが行われました。

まかれた豆を自分の年令の数、または、自分の年令の数より一つ多く食べると厄除けになり、体が丈夫になり、風邪をひかないと言われています。

福豆の袋の中には、たくさんの豪華な景品引換券が入っているため、我先にと福豆袋を取り合っていました。豪華景品の福を抱きかかえた人、小さな福を大事そうに握りしめている人、それぞれが笑顔のひと時でした。

3日後の2月4日には立春を迎え、いよいよ春の足音が近づいてきます。



左義長

1月14日(水)堤治神社において、お正月に飾った門松やしめ飾りなどを持ち寄り、燃やして厄払いをし今年一年の無事を祈る左義長神事が行なわれました。

お飾り餅を焼いたり、焼けた青竹の一片を縁起物として持ち帰る人もいました。

抹茶のいただき方

1月17日(土)抹茶のいただき方の講習が小信中島女性の会主催で公民館において、午前は大人55名、午後

は子ども24名の参加で行なわれました。講師から、隣の席の人への挨拶の仕方、お菓子の取り方・食べ方、抹茶の飲み方など詳しく指導を受けながら、近年経験する機会が少なくなっている、日本の伝統文化の茶道に触れることができました。

特に子どもたちは、おいしそうなお菓子「柚子しぐれ」を前に置き、食べたいのを我慢しながら、講師の説明をしっかりと聞いて、緊張した顔で真剣に取り組んでいました。



我曾 初地蔵祭り

1月18日(日)午後2時から我曾地区の初地蔵まつりが太鼓の音とともに皆さん25名余りが集まり、読経がなされ地区の住民、特に子どもの平安が祈願されました。二ツ屋地区、小信地区は1月24日(土)、中島地区は1月25日(日)に、それぞれの地蔵尊において初地蔵祭りが行なわれました。



1月22日(木)から25日(日)、「小信っ子美術館」が三岸節子記念美術館において行なわれました。小信中島小学校の児童の皆さんが制作した作品の中から自分のお気に入りの作品を展示したものです。どの作品もそれぞれすばらしく、色づかいの感性に驚くばかりでした。22日と23日は、児童の皆さんが三岸節子記念美術館に行き、自分の作品や友だちの作品を鑑賞し、その後、三岸画伯の絵画も鑑賞しました。24日と25日の2日間は、一般鑑賞の日としてご家族の方などが鑑賞されました。



文化財防火訓練

毎年1月26日の「文化財防火デー」を前にして、1月23日(金)に一宮市の指定文化財(木造狛犬、瑞花双鸞八稜鏡、瓶子、木彫板額: 栖神法窟)4点を所蔵する堤治神社において、文化財防火訓練が行われました。実施機関は、一宮市教育委員会、堤治神社、一宮市消防本部、一宮市消防団で、文化財管理者、神社関係者、消防本部職員、消防団員の計64名が参加しました。午前10時頃、震度5強の地震で拝殿内のろうそくが倒れて出火したとの想定で行なわれました。自衛消防隊長の指示に従い、避難誘導班は参拝者を脱出させ、消火班は初期消火、文化財搬出班は文化財に見

立てた箱を運び出しました。さらに、消防車による放水活動もされました。貴重な文化財保護の観点からの防火訓練でしたが、一般家庭におきましても同様に、防火に努められるようお願い致します。



みそ作り体験

1月24日(土)みそ作り体験が公民館女性学習部主催で公民館調理室において行なわれました。作り方は、大豆を一晩水に浸し、圧力鍋で煮ます。煮た大豆をフードプロセッサーと手作業の両立で潰したり、かき混ぜたりして捏ねます。その後、塩、米麴、豆麴を混ぜ、空気を抜くために団子にしたりしてよく捏ね、ポリバケツに入れ密封状態にして6~7ヶ月間発酵させて出来上がります。今回は9月まで発酵させますので、皆さん出来上がるまで楽しみが続きます。